

評価基準の概要及び 基準 1. 使命・目的

大学評価基準の概要について

★基本的・共通的な最小限の事項として

6の「基準」、21の「基準項目」、51の「評価の視点」
「評価の視点に関わる自己判定の留意点」
「指定するエビデンス資料の提出」

★「独自基準」と「特記事項」

六つの「基準」のほかに、個性・特色として重視している領域
の自己点検・評価と特筆したい特色ある教育研究活動や事
業等の記述

「本基準の趣旨」: 各基準が意図している目的を解説

「基準項目」: 各基準における評価項目

「評価の視点」: 各基準項目において、自己点検・評価を行う際に踏まえる内容

プラス **+**

「評価の視点に関わる自己判定の留意点」:

自己点検評価書の作成の留意すべき内容

「指定するエビデンス資料」: 提出が必須の資料

「判断例」: 評価結果の平準化を目的として、判定委員会が作成した判断基準

「法令等の遵守状況一覧」: 自己点検評価書に遵守状況を記入

自己点検評価書とともに提出が必要なエビデンス資料のイメージ

エビデンス集(データ編)

表〇-〇(様式)

エビデンス集(資料編)

基礎資料(16種類)

指定する
エビデンス資料

自己点検・評価の
根拠となる資料

全大学に
基本的、共通的な
資料を求める

全大学に求めるが
内容は大学によって
異なる

基準 1. 使命・目的

基準1. 使命・目的

趣旨

大学は、学術の中心として、広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させることを目的とした機関です。とりわけ、専門職大学は、専門性が求められる職業を担うための実践的かつ応用的な能力を展開させることを目的としています。大学は、使命・目的を明確に定めるとともに、教育研究上の目的を学則などにおいて明確に定める必要があります。また、それらを、①ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与の方針)②カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)③アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)に反映するとともに、使命・目的に整合した教育研究組織を構築し、計画的に使命・目的及び教育研究上の目的を達成していくことが求められます。

1-1.使命・目的及び教育研究上の目的の反映

評価の視点	評価の視点に関わる自己判定の留意点☑
①学内外への周知	<input type="checkbox"/> A.使命・目的及び教育研究上の目的をどのように学生、教職員、役員、学外関係者に周知しているか。
②中期的な計画への反映	<input type="checkbox"/> A.使命・目的及び教育研究上の目的を中期的な計画に反映しているか。
③三つのポリシーへの反映	<input type="checkbox"/> A.使命・目的及び教育研究上の目的を三つのポリシーに反映しているか。
④教育研究組織の構成との整合性	<input type="checkbox"/> A.使命・目的及び教育研究上の目的を達成するために必要な学部・学科などの教育研究組織を整備しているか。
⑤変化への対応	<input type="checkbox"/> A.社会情勢や組織の改編などに対応し、必要に応じて使命・目的及び教育研究上の目的の検証を行っているか。

指定するエビデンス資料

- 大学のウェブサイトで使命・目的、教育研究上の目的などを示す部分のURL
- 使命・目的及び教育研究上の目的を検証する会議体の規則

評価基準の概要及び 基準1. 使命・目的